

和 なごみ

VOL.1
2015秋

Miyata Eye Hospital
Communication Magazine

特集

鹿児島宮田眼科って
どんなところ？

耳より一線内障 特別診療－

ご存知ですか？この病気！
「急性閉塞隅角線内障」



撮影：中村ヤス子（京都 真如堂の紅葉）

 医療法人 明和会 鹿児島宮田眼科

特集 鹿児島宮田眼科って どんなところ？

皆様いかがおすごしでしょうか。この度、交流のかけ橋になればという思いから、今様かわら版“なごみ”を発行することになりました。

毎日の診療のなかで患者さんからご質問頂く内容から、当院の特色を大谷院長に聞いてみました。



① 都城にある宮田眼科病院と同じですか？

はい。同じです。

平成16年に鹿児島宮田眼科ができる以前から、鹿児島市内や離島の方々に都城まで足を運んで頂いておりました。

少しでも皆様のご負担が軽くなればという思いから、鹿児島宮田眼科をオープンし、都城宮田眼科病院と連携しながら診療にあたっています。

② 手術を受けたいけど、入院はできますか？

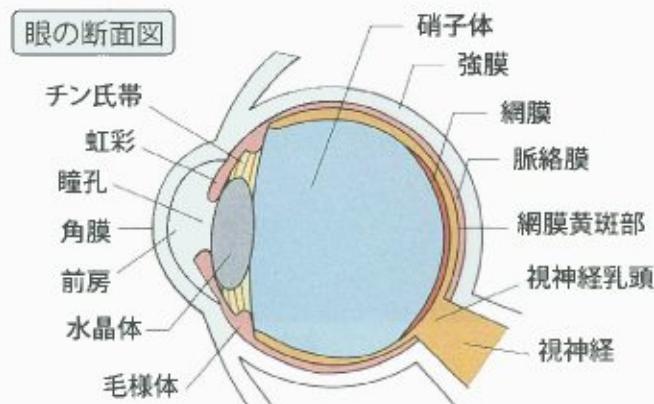
現在、鹿児島県の地域医療計画によって新しく入院のベットを持つことができません。当院では白内障をはじめとする日帰りで可能な手術のみ行っています。入院が必要な患者さんは都城宮田眼科に入院して頂き退院後の経過を診療させていただいております。

都城へ行くことが困難な場合は、鹿児島市立病院や大学病院等へご紹介致します。

③ 先生方がたくさんいらっしゃるんですね？

総勢18名の医師で診療にあたらせていただいております。

内科であれば心臓・肝臓・腎臓・胃腸など専門分野に分かれていることはご存知だと思います。眼の大きさは約2.4cmですが、断面図のとおり多くの機能を備えた臓器です。



“眼がみえない”原因は単に近視や遠視、老眼だけでなく様々な疾病が関連していることがあります。

当院ではそれぞれに専門の医師があり、適切な診断ができるよう体制を整えています。



緑内障 特別診療 白土先生ってどんな先生?

白土 城照(しらと しろあき)先生

四谷しらと眼科院長、東京医科大学兼任教授
東京医科歯科大学客員教授



白土城照先生は、緑内障の第一人者と言われている先生なのでご存知の方も多いのではないかと思います。

四谷しらと眼科には、緑内障の患者さんが全国からみえられ“診察予約は2~3ヶ月待ち、手術は1年待ち”なんてうわさがあるほど超多忙な先生です。当院では、お忙しい中、2ヶ月に1度、東京よりお越しいただき、治療方針や手術可否の診断、検査におけるポイントなどを指導をいただいております。

シリーズ

ご存知ですか?この病気!

① 甲突 瞳さん(仮名) 48歳

瞳さんは、小さい頃から視力は良く、遠くの小さい文字も良く見えていた。

眼に不自由したことではなく、眼科を受診したことにもなかった。

そんなある日・・・
その病気が瞳さんを襲ったのです。

② 風邪気味だった瞳さん。風邪薬を飲んだあと早めに床についたのですが…

激しい頭痛で目が覚め、今までにない頭痛・嘔吐の繰り返し。



瞳さんは、救急車を呼び夜間の救急病院を受診しました。

③ 頭のCT検査は異常なし、頭痛の原因が分からない。

医者は首をひねるばかりで「痛み止めと点滴で様子を…」翌朝、頭痛が和らぎ、余裕ができた、瞳さん。



この時はじめて右目が見えないことに気づいたのです。

④ 眼科を受診

きゅうせいへいそくぐうかくりょくないしう

診断『急性閉塞隅角緑内障』

<特徴>

- 頭痛、眼痛、かすみ、充血を伴う
- 若い頃、良く見えていた人に多い
- 他科受診のため、診断が遅れることがある
- 適切な治療が遅れると、視野欠損をきたす
- 診察で予測できる場合もある
予防的手術=レーザー虹彩切開術

40歳以上の20人に1人の割合で『緑内障』の患者さんがいるといわれています。症状に気づかず過ごしている方も大勢いらっしゃいます。

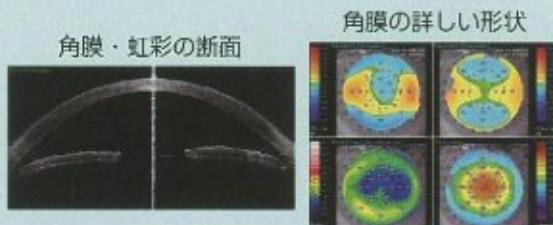
定期検査を受けましょう!

Information



◆◆◆ 前眼部三次元画像解析装置 ◆◆◆

"眼のCT検査"とイメージしてください。従来の検査法は、顕微鏡検査や写真検査などで、眼球の表面上の変化しか観察できず、診断精度に限界がありました。



写真のように眼の中の状態を、直接器械が眼に触れることなく、短時間で測定でき痛みもありません。

従来の検査法では困難だった角膜の部分的な厚さや混濁、緑内障における隅角や虹彩の状態、水晶体の状態を画像解析し、正確な数値で表すことが可能になりました。

- 前眼部三次元画像解析は厚生労働省の認可を受けた先進医療対象検査です。
- 検査には、通常の診療費とは別に費用がかかります。

学会活動報告

◆第119回 日本眼科学会

- ・細菌性角膜炎症例の分離菌およびLevofloxacin感受性の推移
- ・プロスタグランジン関連緑内障点眼薬長期使用者における眼表面常在菌叢の特徴
- ・術後眼内炎を完封せよ！
 - 術前/術中/術後リレー
 - 術後眼内炎対策
 - starting pitcherとしての心得

◆第85回 九州眼科学会

- ・水疱性角膜症に対する全層角膜移植術と角膜内皮移植術の術後3年の成績比較

◆ARVO 2015

- ・Correlation between factors related with previous myopic laser in situ keratomileusis and refractive error after intraocular lens implantation

◆第30回 JSCRS学会

- ・白内障手術前患者と健康成人の結膜囊常在菌叢と薬剤感受性の比較検討

◆第71回 日本弱視斜視学会

- ・交代性外斜視を伴う両側内側縦束症候群(WEBINO症候群)に両内直筋短縮術を行った1例

一部抜粋して紹介させていただいております。
H27年4月～7月まで学会発表17題の他、論文
発表、専門書への投稿を行っています。
詳しくはホームページをご覧ください。

光あるよろこびをあなたに

医療法人 明和会

鹿児島宮田眼科

鹿児島市西田1丁目5-1

宮田眼科病院

宮崎県都城市蔵原町6-3

予約センター (鹿児島) 099-286-1233 (都城) 0986-46-1200

ホームページ <http://www.miyata-med.ne.jp>